

平成
8年度

三翠化学会総会報告

三翠化学会

(題字は福川先生)

第45号
平成8年11月30日 発行
三翠化学会
津市上浜町1515
三重大学農芸化学コース内
電話/津(059)232-1211
振替/名古屋9-59345
印刷/株式会社ある
TEL(052)332-0861大8長谷川

なごやかに定期総会開かる

併せて三重県支部総会も

平成八年度三翠化学会総会は、六月一日(土)昨年に引き続き三重大学生物資源学部大講義室において、恩師北岸、松嶋、赤木、熊澤各先生ならびに現職教官梅林先生のご臨席を得て行われた。

総会は十一時に開始され、福田会長の挨拶と、来賓として御列席賜った恩師北岸、松嶋両先生にご挨拶を頂いた後、議長に大学二十回の田中実氏、議事録署名人に大学四回の菺本義雄氏を選出し議事に入った。議事は例年どおり平成七年度の事業報告、会計報告、基金会計報告、会計監査報告が担当監事、幹事から行われた後、平成八年度事業計画、予算案が提案されいずれも満場一致で承認された。その後、評議員大三八回中川仁氏の三重からの転出にもなう措置として、同期の藤田修造氏への交代、ならびに本年度卒業生の中から加藤俊次氏への評議員の委嘱が報告された。

総会にひきつづいて、生物資源学部の新建物で現職の同窓教官による案内された。案内は、十人ほどのグループに分かれて農芸化学コースが入っている六・七階を見たいだいた後屋上に上がり、折からの好天のもと間近にみえる鈴鹿・布引の山々や伊勢湾、津の市街を見て頂き、また三重大学の全貌をこ

三重県支部 総会報告

三翠化学会総会終了後、三重県支部総会が開催され、池山支部長(大一一)による会務報告のあと規約改正が発議され、採択の後役員人事が行われ、次期(平成八・九年度)支部長として福田現(三翠化学会会長(大一一)が選出された。これは、三翠同窓会・親同窓会・三重県支部連

三翠化学会三重県支部役員および 三翠同窓会三重県支部連絡協議会役員

三翠化学会 役職名	三翠会支部 役職名	氏 名	卒業回数
理事(支部長)	支部長(会長)	福田 映	大1
〃(副支部長・南勢)	理事	花山信勝	大4
〃(副支部長・中勢)	〃	今井 滋	大9
〃(副支部長・北勢)	〃	杉崎 護	大16
〃	〃	池山洋久	大16
監事	監事	鈴木克巳	大12
幹事	幹事	原田俊夫	大1
〃	〃	林 真栄	大11
〃	〃	小畑 仁	大15
評議員	評議員	近藤清夫	大2
〃	〃	菺本義雄	大4
〃	〃	板谷昇次	大5
〃	〃	高橋孝雄	大6
〃	〃	広瀬和久	大20
〃	〃	寺沢修平	大23
〃	〃	中北隆也	大27
〃	〃	稲垣卓次	大31
〃	〃	原 正之	大32



絡協議会の会長職を、連絡協議会の申し合わせにより平成八年八月の総会から二年間三翠化学会に担当する事になったことを受けての措置である旨が、池山支部長より説明され、なごやかに平成七年度支部長より説明された。これに伴って理事等に若干



生物化学



農産物利用学



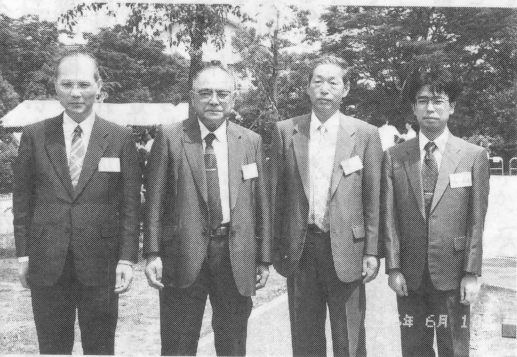
土壌学・植物栄養学



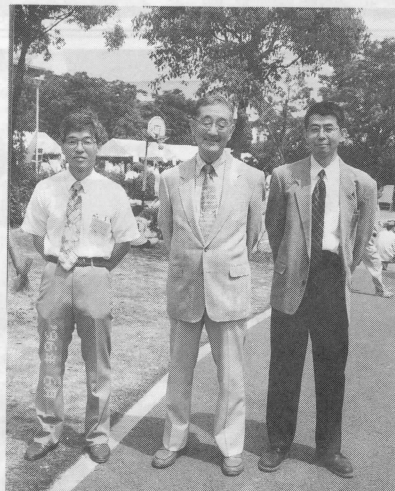
食品化学



応用微生物学



栄養化学



生理活性化学

出身研究室別スナッフ

平成8年度事業計画案

Table with 4 columns: Year, Date, Event Name, and Details. Lists activities from May 10 to March 31.

平成7年度事業報告

Table with 4 columns: Year, Date, Event Name, and Details. Lists activities from April 28 to March 31.

平成8年度予算案

Financial budget table with columns for Income/Expense, Previous Year Actual, Budget, and Remarks.

平成7年度基金決算報告

Financial report table for fund results with columns for Income/Expense, Previous Year Actual, Budget, and Remarks.

平成7年度決算報告

Financial report table for general results with columns for Income/Expense, Budget, Actual, and Remarks.

規約改正の趣旨

Main body of text explaining the purpose of the regulations, detailing the roles of the board, committees, and members.

三重県支部報告

東大淀海岸にて懇親会を開き 地曳網・浜焼きを満喫!!

Report on the reunion held at Higashi-Osada Beach, mentioning the fishing and beach barbecue activities.



Additional text and notes related to the reunion, including a note about the author's name (池山記).

古希目前でも 気力は20代?

専1 クラス会



私達が敗戦翌年の春新設の農産製造科に入学してから半世紀が過ぎました。上級生がいない自由な雰囲気と、各対抗競技にクラスだけでがんばった故かクラスの結束は益々固く一九九二年以降毎年三月にクラス会を行っている。列記すると(日時、宿泊場所、参加者、世話役の順)

- 92.3.13 パル湯の山 21名 津市在住者
- 93.3.5 神戸舞子ヴィラ 17名 関西在住者
- 94.3.13 彦根簡保の宿 22名 滋賀在住者
- 95.3.12 焼津簡保の宿 24名 名古屋在住者
- 96.3.17 鳥羽市美浦荘 21名 三重県庁OB

こうなると一年一回のクラス会がお互いの年中行事にみ込まれて出席率も高く楽しみな行事となっている。

となつている。今年は鳥羽駅に集合して全員で海の博物館を見学してから海辺の静かな宿に到着。神戸の地震で家が全壊した中尾君が去年に続いて元気で参加してきてくれて皆が喜ぶ。一風呂あびて宴会は例年通り盛り上った。古希を目前に迎えた我々にとって一九九二年以降全員元気で計報がないのも嬉しいことである。九時過ぎに明日の仕事

ある長谷川市長と松村社長が先に乗る。その後は最後の三翠応援歌で十二時すぎに宴を終った。来年は長谷川市長の世話で三月十六・十七日奈良市で行うことに決定した。

○若布乾す
宿あり友と酒を酌む
○古希近き
友集い来て志摩は春
(今西記)

仙人会最高の盛り 桜井市長を囲んで

専2 クラス会

ことしの仙人会(専二クラス会)は十四名の出席を得て、十月十三日奈良県桜井市の国民年金保養センター「大和路」で開かれた。

卒業生四十四名中、健在者三十九名、そのうち二十四名出席という過去最高の盛りだ。これらとあわせてお世話頂いた関西グループ(幹事・佐藤紀

この総会に先立ち、檀原昆虫館の見学を企画したところ十二名の参加があり、世界の昆虫標本、化石による昆虫進化の様子、そして昆虫の生態ビデオ等を見たほか、チョウや蜂の舞う温室を見学して、秋の散策を楽しむ、仙人会に華を添えた。国民年金保養センターを会場に選んだのは会費を少しでも安

志男、中川清、中川紀一君らのお骨折りによるものと感謝している。

特別出席の長谷川明さんは、専門一回卒業後、県経済連に勤務。病氣退職して十年間の闘病生活ののち、知己を得て三十四才で桜井市役所に勤務。その後収入役九年間、市長に推されて市長二期目だのお話をされた。さらにその昔、三翠

卒業40周年記念 伊賀に集う!!

大4 クラス会

われ我のクラスは今年卒業四十周年を迎えた。そこで昨年にならって、三翠化学会の総会日六月一日に、伊賀上野に集合した。集まったメンバーは、渋谷

夫、藤田、和田夫妻、花山夫妻、梅田、勝田、田井中、林貢、古川、細見、萩本の十四名である。

前回の申し送りでもあった旨の伊賀の酒と牛肉を味わうのが和夫妻の世話で、名匠茶屋を会場にして盛大に行われた。

この日は、渋谷、藤田両君の生還・快気祝いでもある。

病気の無かった渋谷君が突然病に倒れ、難しい手術から無事生還、元気を取り戻した。また、藤田君は、頑健な身体体持主ながら心臓発作を起こし、一刻を争う危機から脱出、これも企業戦士の猛者が、不調おしでの出社が幸いして迅速な処置ができた、無事生還できた。

当夜はホテルで一泊、翌朝、和田幹事の豪華な邸宅を訪問、屋久杉の一枚板の戸や、唐紙に見事に描かれた上野城や俳聖殿



ついで、みんなで一緒に過ぎた若き日の楽しい思い出話に同感の声があふいた。専一も来春に奈良でクラス会を開くとのこと。長谷川市長さんの統括を祈念した寄せ書き色紙を贈呈した。

一人づつ近況報告・健康不安報告のほか、松中教授の「ジバング先生」が異色だった。

最後に、来年は三重県でお世

などの墨絵に感嘆、和田君夫妻の案内でだんじり会館や上野公園を散策した。昼食には、わかやのどんがくを充分たんのうし、お土産に、和田商店開発の

銘酒「上野城」を全員に頂戴して帰路についた。(記事後半の文責は萩本)

(幹事 花山信勝 和田 暹)

話ることが決った。

この日の出席者は、次のとおりです。

砂野、石井、市橋、大井、大江、大道、津津、黒部、近藤、榎原、佐藤、十川、竹内、積木、中川、清、紀、深彦、中西、藤井、藤枝、藤山、松村、吉田、松中

(文 中川潔彦 写真 中川紀一)

「一人は、健康・経済・孤独感という三つの不安をもっている。とくに頼れるものが少なくなつていく孤独感が次第に大きくなるのでクラス会に出て、お互いに語り合う楽しさを求めてい

この日の出席者は、次のとおりです。

砂野、石井、市橋、大井、大江、大道、津津、黒部、近藤、榎原、佐藤、十川、竹内、積木、中川、清、紀、深彦、中西、藤井、藤枝、藤山、松村、吉田、松中

(文 中川潔彦 写真 中川紀一)

卒業30周年記念 夫婦同伴・沖縄の旅

農芸化学大14回卒

「クラス会を何時か沖縄での夢が実現しました。敬老の日を入れた平成八年九月十四日、十六日、二泊三日の日程で卒業三十周年を記念した化学十四回卒のクラス会を実施しました。

今回は卒業後三十年の節目という事もあり、初めての試みとして、永年家庭を支えてくれた奥様の御苦労に報いるためにも「夫婦同伴歓迎」を前面に出した計画にしました。沖縄の旅という事、参加するメンバーが

沖縄は初めての方が多し事を考慮し、二泊三日の日程を以下のよう設定しました。即ち、碧い空、青い海、白い砂浜のあるリゾートホテルでの宿泊。琉球王朝文化の薫りに直に接して貰う。基地の問題で揺れる沖縄の実体と沖縄戦跡めぐり。その他代表的な沖縄の観光地めぐり及び琉球舞踊に琉球料理とちよつと欲張りしました。それに今回も一つのトピックとして梅林正直先生が三重大学教授として最後の年という事で先生御夫妻の招待を申し出たところ、快く御了承下さり参加して頂きました。計画案をまとめ、三月下旬、各自に発送し、気をもみながら返事待ちをしていたと次々に参加するとの朗報。結局参加者全員が夫婦同伴となり、先生御夫妻を含めて総勢十六組三十二名のクラス会となりました。

参加者は次の各御夫妻です。梅林先生、阿部・井口・市原・岡崎・松林(奥野)・北浦・小林・佐藤・高橋(田尻)・田中・館・玉置・戸嶋・西元・宮城。

さていよいよ当日、天候にも恵まれ全員を迎えるために空港に向けて出発しようとしている所へ、名古屋発の飛行機が約二時間遅れるとの玉置君からの電話……。出だしたらハブニングです。これから二泊三日のC十四クラス会沖縄の旅の概要を御報告します。

第一日目、前述の通りのハブニングのため、約三時間のロスがあり途中の観光予定を一部カットする。全員集合(阿部・松林・岡崎は途中合流)した所で遅めの昼食を取る。メニューとして沖縄独特の麵「ソーキそば」を選んだ。こちらの心配をよそに全員抵抗なく食べてくれてホッとする。食後大型貸切バスで観光に出発。(東南植物楽園)沖繩の中部にあるトロピカルムードあふれる熱帯・亜熱帯の植物園、園内には四五〇種以上の鑑賞用ヤシ、特に日本一のトックリヤシ並木がすばらしい。又、ガジュマル広場、ハイビスカスエリア、多肉植物エリア、ポリ

ネシアンレイクに咲く赤・白・黄色の熱帯睡蓮のある水上楽園を食す。それに飲物として琉球秘蔵の古酒泡盛。

三日目は最後の日程で、この日は沖縄を離れるまで完全自由行動にして夫婦だけの日としました。終りに当り、今回初めての試みとして夫婦同伴としたものの、正直申し上げて我々男性は気が知れているから良いが、奥様方は初めての果てしなくうまかつくうちに解けてくれる心配でしたが全くの杞憂でした。今回の一番の収穫は何となく奥様方の参加協力です。日頃の夫婦円満振りは一目瞭然たるに及ばずの感がありました。これからの人生を夫婦仲良く、有意義に生きたいと思えます。又、梅林先生御夫妻の参加も効果大でした。久々に恩師と教え子の絆を深く感じました。最後にこのクラス会が成功したのは玉置君の協力が大きかった事を申し添えて報告とします。(宮城久茂記)

(注)紙面の都合により、一部文章を省略させていただきます。

計報

本会会員市川洋子氏(専三、服部信之氏(大二三)、吉野典生氏(大二九)にはこのたびご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

